

ゴット交配

愛娘ひなた

めずらしくて! おいしくて! 作りやすくて!! (>_<)b



●葉脈及び葉柄が黄色になりますが、黄皮種独特の特性で、病害ではないのでご安心下さい。

特性

草勢は旺盛で、本葉2～3枚目の頃から葉脈および葉柄が黄色くなり始める。
 低温時にも花粉の発生良く、雌花の着生も安定しているので早期から栽培可能。
 裂果や空洞果の発生が少なく、種子部周囲の果肉退化も遅い。
 果重は2.5kg前後で、外皮は鮮黄色に濃黄色の縞で大変美しい。
 果肉色は桃紅色、果肉の硬さはやや硬く、糖度12～13度で食味良好。

栽培のポイント

小玉スイカの栽培圃場では問題ないが、大玉スイカの施肥量からは窒素成分を半分程度に減量すること。
 裂果は比較的少ないが、抑制栽培では裂果の発生が見られたので避けたほうが良い。
 整枝栽培の場合は、子づる4～5本仕立てで3～4果どりを基本とする。
 一般的な縞皮小玉スイカ品種と比較して、成熟日数はほぼ同程度である。

栽培適期表

